

MY WAY English Expression I New Edition : 観点別評価規準

2016 (rev 2017)

I. 全体の評価規準

1. 目標と使用教材

目標	<p>英語を通じて積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら伝える能力を養う。</p> <p>上記の目的のため、以下の言語活動を行う。</p> <p>ア 与えられた話題について即興で話す。また聞き手や目的に応じて簡潔に話す。</p> <p>イ 読み手や目的に応じて簡潔に書く。</p> <p>ウ 聞いたり読んだりしたことや学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどをまとめ発表する。</p>
使用教科書・副教材等	<ul style="list-style-type: none">・ MY WAY English Expression I New Edition (英 I 324)・ ワークブック

2. 評価の方法

- (1) 授業中の活動や発表
- (2) ワークシートなどの提出
- (3) 小テスト・定期テスト

3. 評価の観点と対象箇所、評価規準

観点		教科書の対象箇所	規準
コミュニケーションへの関心・意欲・態度		<ul style="list-style-type: none"> 各レッスンの Points, USE! Project Work A~E 各ユニットの Grammar for Communication Communication Activity 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の経験したことや、聞いたり読んだりしたこと、学んだことなどを、積極的に伝えようとしている。 基本的な文法事項などについての理解をさらに深め、コミュニケーションを図ろうとしている。
表現の能力	話すこと	<ul style="list-style-type: none"> 各レッスンの USE! Project Work A~E Communication Activity 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の経験したことや、聞いたり読んだりしたこと、学んだことなどを、学習した文法事項や構文などを用いて話すことができる。 自分の意見を整理し、話すことができる。
	書くこと	<ul style="list-style-type: none"> 各レッスンの Check, Exercises, USE! Review Exercises 1~5 内の Write a Paragraph! コーナー Project Work A~E 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の経験したことや、聞いたり読んだりしたこと、学んだことなどを、学習した文法事項や構文などを用いて書くことができる。 自分の意見を整理し、それが読み手に伝わりやすいように工夫して書くことができる。
理解の能力	聞くこと	<ul style="list-style-type: none"> 各レッスンの Grammar in Use など Project Work A~E Communication Activity 	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な文法事項などを用いて話される英文を聞き取ることができる。 さまざまな話題についての他人の話を、内容についてメモをとったり、要点を考えたりしながら聞くことができる。
	読むこと	<ul style="list-style-type: none"> 各レッスンの Points, Grammar in Use, Exercises など Project Work A~E 	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な文法事項などを用いて書かれた英文を読むことができる。 さまざまな話題についての英文を、内容についてメモをとったり、要点を考えたりしながら読むことができる。

<p>言語や文化 についての 知識・理解</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各レッスンの Points, USE! ・Review Exercises 1~5 内の Write a Paragraph! コーナー ・Project Work A~E ・各 Unit の Grammar for Communication 	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な文法事項の用法などを理解することができる。 ・表現する際に必要な日本語と英語の発想の違いを理解することができる。 ・日本語の段落とは異なる英語のパラグラフの特徴が理解できる。 ・さまざまな背景のある話題について書かれたり話されたりする英文を、理解することができる。
----------------------------------	--	--

II. 各レッスンの評価規準

Project Work A~E は最後にまとめてあります。Communication Activity は付録のため、個別の評価規準は掲載していません。

●Lesson 1 (p.16~17)

観点		評価規準
コミュニケーションへの関心・意欲・態度		<ul style="list-style-type: none"> ・自分や他人の習慣、今まさにやっていることなどについて、積極的に伝えようとする。 ・現在形、現在進行形についての理解を深め、コミュニケーションを図ろうとする。
表現の能力	話すこと	<ul style="list-style-type: none"> ・自分や他人の習慣、今まさにやっていることなどについて、話すことができる。
	書くこと	<ul style="list-style-type: none"> ・現在形、現在進行形を理解して適切な英語を書くことができる。 ・自分や他人の習慣、今まさにやっていることなどについて、適切な英語を書くことができる。
理解の能力	聞くこと	<ul style="list-style-type: none"> ・現在形、現在進行形を用いて話された英語を聞き取ることができる。
	読むこと	<ul style="list-style-type: none"> ・現在形、現在進行形を用いて書かれた英語を読みとることができる。
言語や文化についての知識・理解		<ul style="list-style-type: none"> ・現在形、現在進行形の基本的な用法を理解している。

●Lesson 2 (p.18~19)

観点		評価規準
コミュニケーションへの関心・意欲・態度		<ul style="list-style-type: none"> ・過去のある時点のできごとや、過去に起こっていた動作などについて、積極的に伝えようとする。 ・過去形、過去進行形についての理解を深め、コミュニケーションを図ろうとする。
表現の能力	話すこと	<ul style="list-style-type: none"> ・過去のある時点のできごとや、過去に起こっていた動作などについて、話すことができる。
	書くこと	<ul style="list-style-type: none"> ・過去形、過去進行形を理解して適切な英語を書くことができる。 ・過去のある時点のできごとや、過去に起こっていた動作などについて、適切な英語を書くことができる。
理解の能力	聞くこと	<ul style="list-style-type: none"> ・過去形、過去進行形を用いて話された英語を聞き取ることができる。
	読むこと	<ul style="list-style-type: none"> ・過去形、過去進行形を用いて書かれた英語を読みとることができる。
言語や文化についての知識・理解		<ul style="list-style-type: none"> ・過去形、過去進行形の基本的な用法を理解している。

●Lesson 3 (p.20~21)

観点		評価規準
コミュニケーションへの関心・意欲・態度		<ul style="list-style-type: none"> ・自然の成り行きで起こりそうなこと、以前から考えていた計画や意図などについて、積極的に伝えようとする。 ・will / be going to の未来表現についての理解を深め、コミュニケーションを図ろうとする。
表現の能力	話すこと	<ul style="list-style-type: none"> ・自然の成り行きで起こりそうなこと、以前から考えていた計画や意図などについて、話すことができる。
	書くこと	<ul style="list-style-type: none"> ・will / be going to の未来表現を理解して適切な英語を書くことができる。 ・自然の成り行きで起こりそうなこと、以前から考えていた計画や意図などについて、適切な英語を書くことができる。
理解の能力	聞くこと	<ul style="list-style-type: none"> ・will / be going to の未来表現を用いて話された英語を聞き取ることができる。
	読むこと	<ul style="list-style-type: none"> ・will / be going to の未来表現を用いて書かれた英語を読みとることができる。
言語や文化についての知識・理解		<ul style="list-style-type: none"> ・will / be going to の未来表現の基本的な用法を理解している。

●Lesson 4 (p.22~23)

観点		評価規準
コミュニケーションへの関心・意欲・態度		<ul style="list-style-type: none"> ・「ちょうど～したところ」「ずっと～している」といった内容などについて、積極的に伝えようとする。 ・現在完了形の完了・結果用法、継続用法と現在完了進行形についての理解を深め、コミュニケーションを図ろうとする。
表現の能力	話すこと	<ul style="list-style-type: none"> ・「ちょうど～したところ」「ずっと～している」といった内容などについて、話すことができる。
	書くこと	<ul style="list-style-type: none"> ・現在完了形の完了・結果用法、継続用法と現在完了進行形を理解して適切な英語を書くことができる。 ・「ちょうど～したところ」「ずっと～している」といった内容などについて、適切な英語を書くことができる。
理解の能力	聞くこと	<ul style="list-style-type: none"> ・現在完了形の完了・結果用法、継続用法と現在完了進行形を用いて話された英語を聞き取ることができる。
	読むこと	<ul style="list-style-type: none"> ・現在完了形の完了・結果用法、継続用法と現在完了進行形を用いて書かれた英語を読みとることができる。
言語や文化についての知識・理解		<ul style="list-style-type: none"> ・現在完了形の完了・結果用法、継続用法と現在完了進行形の基本的な用法を理解している。

●Lesson 5 (p.24~25)

観点		評価規準
コミュニケーションへの関心・意欲・態度		<ul style="list-style-type: none"> ・「～したことがある」「すでに～してしまった」といった内容などについて、積極的に伝えようとする。 ・現在完了形の経験用法、過去完了形についての理解を深め、コミュニケーションを図ろうとする。
表現の能力	話すこと	<ul style="list-style-type: none"> ・「～したことがある」「すでに～してしまった」といった内容などについて、話すことができる。
	書くこと	<ul style="list-style-type: none"> ・現在完了形の経験用法、過去完了形を理解して適切な英語を書くことができる。 ・「～したことがある」「すでに～してしまった」といった内容などについて、適切な英語を書くことができる。
理解の能力	聞くこと	<ul style="list-style-type: none"> ・現在完了形の経験用法、過去完了形を用いて話された英語を聞き取ることができる。
	読むこと	<ul style="list-style-type: none"> ・現在完了形の経験用法、過去完了形を用いて書かれた英語を読みとることができる。
言語や文化についての知識・理解		<ul style="list-style-type: none"> ・現在完了形の経験用法、過去完了形の基本的な用法を理解している。

●Lesson 6 (p.32~33)

観点		評価規準
コミュニケーションへの関心・意欲・態度		<ul style="list-style-type: none"> ・「～できる」(可能)「～してもよい」(許可)「～しなければならない」「～した方がよい」(義務)といった内容などについて、積極的に伝えようとする。 ・助動詞 can, may, must, have to, should などについての理解を深め、コミュニケーションを図ろうとする。
表現の能力	話すこと	<ul style="list-style-type: none"> ・「～できる」(可能)「～してもよい」(許可)「～しなければならない」「～した方がよい」(義務)といった内容などについて、話すことができる。
	書くこと	<ul style="list-style-type: none"> ・助動詞 can, may, must, have to, should などを理解して適切な英語を書くことができる。 ・「～できる」(可能)「～してもよい」(許可)「～しなければならない」「～した方がよい」(義務)といった内容などについて、適切な英語を書くことができる。
理解の能力	聞くこと	<ul style="list-style-type: none"> ・助動詞 can, may, must, have to, should などを用いて話された英語を聞き取ることができる。
	読むこと	<ul style="list-style-type: none"> ・助動詞 can, may, must, have to, should などを用いて書かれた英語を読みとることができる。
言語や文化についての知識・理解		<ul style="list-style-type: none"> ・助動詞 can, may, must, have to, should などの基本的な用法を理解している。

●Lesson 7 (p.34~35)

観点		評価規準
コミュニケーションへの関心・意欲・態度		<ul style="list-style-type: none"> ・「～に違いない」「～のはずがない」「～だったに違いない」(推量)と いった内容などについて、積極的に伝えようとする。 ・助動詞 can, may, must、〈助動詞+have+過去分詞〉などについての理 解を深め、コミュニケーションを図ろうとする。
表現の能力	話すこと	<ul style="list-style-type: none"> ・「～に違いない」「～のはずがない」「～だったに違いない」(推量)と いった内容などについて、話すことができる。
	書くこと	<ul style="list-style-type: none"> ・助動詞 can, may, must、〈助動詞+have+過去分詞〉などを理解して適 切な英語を書くことができる。 ・「～に違いない」「～のはずがない」「～だったに違いない」(推量)と いった内容などについて、適切な英語を書くことができる。
理解の能力	聞くこと	<ul style="list-style-type: none"> ・助動詞 can, may, must、〈助動詞+have+過去分詞〉などを用いて話さ れた英語を聞き取ることができる。
	読むこと	<ul style="list-style-type: none"> ・助動詞 can, may, must、〈助動詞+have+過去分詞〉などを用いて書か れた英語を読みとることができる。
言語や文化についての知識・理解		<ul style="list-style-type: none"> ・助動詞 can, may, must、〈助動詞+have+過去分詞〉などの基本的な用 法を理解している。

●Lesson 8 (p.36~37)

観点		評価規準
コミュニケーションへの関心・意欲・態度		<ul style="list-style-type: none"> ・「(…に) ~される」、その他の〈be 動詞+過去分詞〉を使った表現などについて、積極的に伝えようとする。 ・基本的な受動態についての理解を深め、コミュニケーションを図ろうとする。
表現の能力	話すこと	・「(…に) ~される」、その他の〈be 動詞+過去分詞〉を使った表現などについて、話すことができる。
	書くこと	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な受動態を理解して適切な英語を書くことができる。 ・「(…に) ~される」、その他の〈be 動詞+過去分詞〉を使った表現などについて、適切な英語を書くことができる。
理解の能力	聞くこと	・基本的な受動態を用いて話された英語を聞き取ることができる。
	読むこと	・基本的な受動態を用いて書かれた英語を読みとることができる。
言語や文化についての知識・理解		・基本的な受動態の基本的な用法を理解している。

●Lesson 9 (p.38~39)

観点		評価規準
コミュニケーションへの関心・意欲・態度		<ul style="list-style-type: none"> ・「～される予定だ」「AがBさんに贈られた」といった内容などについて、積極的に伝えようとする。 ・〈will+be+過去分詞〉〈A+be 動詞+given+to B〉についての理解を深め、コミュニケーションを図ろうとする。
表現の能力	話すこと	<ul style="list-style-type: none"> ・「～される予定だ」「AがBさんに贈られた」といった内容などについて、話すことができる。
	書くこと	<ul style="list-style-type: none"> ・〈will+be+過去分詞〉〈A+be 動詞+given+to B〉を理解して適切な英語を書くことができる。 ・「～される予定だ」「AがBさんに贈られた」といった内容などについて、適切な英語を書くことができる。
理解の能力	聞くこと	<ul style="list-style-type: none"> ・〈will+be+過去分詞〉〈A+be 動詞+given+to B〉を用いて話された英語を聞き取ることができる。
	読むこと	<ul style="list-style-type: none"> ・〈will+be+過去分詞〉〈A+be 動詞+given+to B〉を用いて書かれた英語を読みとることができる。
言語や文化についての知識・理解		<ul style="list-style-type: none"> ・〈will+be+過去分詞〉〈A+be 動詞+given+to B〉の基本的な用法を理解している。

●Lesson 10 (p.46~47)

観点		評価規準
コミュニケーションへの関心・意欲・態度		<ul style="list-style-type: none"> ・「～すること」「～することは、…である」といった内容などについて、積極的に伝えようとする。 ・不定詞の名詞的用法、仮主語・仮目的語 it についての理解を深め、コミュニケーションを図ろうとする。
表現の能力	話すこと	<ul style="list-style-type: none"> ・「～すること」「～することは、…である」といった内容などについて、話すことができる。
	書くこと	<ul style="list-style-type: none"> ・不定詞の名詞的用法、仮主語・仮目的語 it を理解して適切な英語を書くことができる。 ・「～すること」「～することは、…である」といった内容などについて、適切な英語を書くことができる。
理解の能力	聞くこと	<ul style="list-style-type: none"> ・不定詞の名詞的用法、仮主語・仮目的語 it を用いて話された英語を聞き取ることができる。
	読むこと	<ul style="list-style-type: none"> ・不定詞の名詞的用法、仮主語・仮目的語 it を用いて書かれた英語を読みとることができる。
言語や文化についての知識・理解		<ul style="list-style-type: none"> ・不定詞の名詞的用法、仮主語・仮目的語 it の基本的な用法を理解している。

●Lesson 11 (p.48~49)

観点		評価規準
コミュニケーションへの関心・意欲・態度		<ul style="list-style-type: none"> ・「～するために…する」「～して」「～するための…」 「～のための…」といった内容などについて、積極的に伝えようとする。 ・不定詞の副詞的用法、形容詞的用法についての理解を深め、コミュニケーションを図ろうとする。
表現の能力	話すこと	<ul style="list-style-type: none"> ・「～するために…する」「～して」「～するための…」 「～のための…」といった内容などについて、話すことができる。
	書くこと	<ul style="list-style-type: none"> ・不定詞の副詞的用法、形容詞的用法を理解して適切な英語を書くことができる。 ・「～するために…する」「～して」「～するための…」 「～のための…」といった内容などについて、適切な英語を書くことができる。
理解の能力	聞くこと	<ul style="list-style-type: none"> ・不定詞の副詞的用法、形容詞的用法を用いて話された英語を聞き取ることができる。
	読むこと	<ul style="list-style-type: none"> ・不定詞の副詞的用法、形容詞的用法を用いて書かれた英語を読みとることができる。
言語や文化についての知識・理解		<ul style="list-style-type: none"> ・不定詞の副詞的用法、形容詞的用法の基本的な用法を理解している。

●Lesson 12 (p.50~51)

観点		評価規準
コミュニケーションへの関心・意欲・態度		<ul style="list-style-type: none"> ・「～すること」「～することを楽しむ」「～することを考える」といった内容などについて、積極的に伝えようとする。 ・動名詞のさまざまな用法についての理解を深め、コミュニケーションを図ろうとする。
表現の能力	話すこと	・「～すること」「～することを楽しむ」「～することを考える」といった内容などについて、話すことができる。
	書くこと	<ul style="list-style-type: none"> ・動名詞のさまざまな用法を理解して適切な英語を書くことができる。 ・「～すること」「～することを楽しむ」「～することを考える」といった内容などについて、適切な英語を書くことができる。
理解の能力	聞くこと	・動名詞のさまざまな用法を用いて話された英語を聞き取ることができる。
	読むこと	・動名詞のさまざまな用法を用いて書かれた英語を読みとることができる。
言語や文化についての知識・理解		・動名詞のさまざまな用法の基本的な用法を理解している。

●Lesson 13 (p.52~53)

観点		評価規準
コミュニケーションへの関心・意欲・態度		<ul style="list-style-type: none"> ・「～している人／もの」「～された人／もの」といった内容などについて、積極的に伝えようとする。 ・現在分詞、過去分詞の限定用法についての理解を深め、コミュニケーションを図ろうとする。
表現の能力	話すこと	<ul style="list-style-type: none"> ・「～している人／もの」「～された人／もの」といった内容などについて、話すことができる。
	書くこと	<ul style="list-style-type: none"> ・現在分詞、過去分詞の限定用法を理解して適切な英語を書くことができる。 ・「～している人／もの」「～された人／もの」といった内容などについて、適切な英語を書くことができる。
理解の能力	聞くこと	<ul style="list-style-type: none"> ・現在分詞、過去分詞の限定用法を用いて話された英語を聞き取ることができる。
	読むこと	<ul style="list-style-type: none"> ・現在分詞、過去分詞の限定用法を用いて書かれた英語を読みとることができる。
言語や文化についての知識・理解		<ul style="list-style-type: none"> ・現在分詞、過去分詞の限定用法の基本的な用法を理解している。

●Lesson 14 (p.54~55)

観点		評価規準
コミュニケーションへの関心・意欲・態度		<ul style="list-style-type: none"> ・「ずっと～している」「～の状態にする」「～しながら」「～の時に」といった内容などについて、積極的に伝えようとする。 ・分詞の叙述用法、分詞構文の基礎についての理解を深め、コミュニケーションを図ろうとする。
表現の能力	話すこと	<ul style="list-style-type: none"> ・「ずっと～している」「～の状態にする」「～しながら」「～の時に」といった内容などについて、話すことができる。
	書くこと	<ul style="list-style-type: none"> ・分詞の叙述用法、分詞構文の基礎を理解して適切な英語を書くことができる。 ・「ずっと～している」「～の状態にする」「～しながら」「～の時に」といった内容などについて、適切な英語を書くことができる。
理解の能力	聞くこと	<ul style="list-style-type: none"> ・分詞の叙述用法、分詞構文の基礎を用いて話された英語を聞き取ることができる。
	読むこと	<ul style="list-style-type: none"> ・分詞の叙述用法、分詞構文の基礎を用いて書かれた英語を読みとることができる。
言語や文化についての知識・理解		<ul style="list-style-type: none"> ・分詞の叙述用法、分詞構文の基礎の基本的な用法を理解している。

●Lesson 15 (p.56~57)

観点		評価規準
コミュニケーションへの関心・意欲・態度		<ul style="list-style-type: none"> ・「…が～しているのを見た」「人やものに～させる」といった内容などについて、積極的に伝えようとする。 ・知覚動詞、使役動詞についての理解を深め、コミュニケーションを図ろうとする。
表現の能力	話すこと	<ul style="list-style-type: none"> ・「…が～しているのを見た」「人やものに～させる」といった内容などについて、話すことができる。
	書くこと	<ul style="list-style-type: none"> ・知覚動詞、使役動詞を理解して適切な英語を書くことができる。 ・「…が～しているのを見た」「人やものに～させる」といった内容などについて、適切な英語を書くことができる。
理解の能力	聞くこと	<ul style="list-style-type: none"> ・知覚動詞、使役動詞を用いて話された英語を聞き取ることができる。
	読むこと	<ul style="list-style-type: none"> ・知覚動詞、使役動詞を用いて書かれた英語を読みとることができる。
言語や文化についての知識・理解		<ul style="list-style-type: none"> ・知覚動詞、使役動詞の基本的な用法を理解している。

●Lesson 16 (p.64~65)

観点		評価規準
コミュニケーションへの関心・意欲・態度		<ul style="list-style-type: none"> ・「AはBより～だ」「～の中で最も…だ」といった内容などについて、積極的に伝えようとする。 ・比較級、最上級についての理解を深め、コミュニケーションを図ろうとする。
表現の能力	話すこと	<ul style="list-style-type: none"> ・「AはBより～だ」「～の中で最も…だ」といった内容などについて、話すことができる。
	書くこと	<ul style="list-style-type: none"> ・比較級、最上級を理解して適切な英語を書くことができる。 ・「AはBより～だ」「～の中で最も…だ」といった内容などについて、適切な英語を書くことができる。
理解の能力	聞くこと	<ul style="list-style-type: none"> ・比較級、最上級を用いて話された英語を聞き取ることができる。
	読むこと	<ul style="list-style-type: none"> ・比較級、最上級を用いて書かれた英語を読みとることができる。
言語や文化についての知識・理解		<ul style="list-style-type: none"> ・比較級、最上級の基本的な用法を理解している。

●Lesson 17 (p.66~67)

観点		評価規準
コミュニケーションへの関心・意欲・態度		<ul style="list-style-type: none"> ・「～と同じくらい…だ」「～よりも…であるものは他にない」といった内容などについて、積極的に伝えようとする。 ・〈as ... as ～〉〈no other A+動詞+as～as B〉についての理解を深め、コミュニケーションを図ろうとする。
表現の能力	話すこと	<ul style="list-style-type: none"> ・「～と同じくらい…だ」「～よりも…であるものは他にない」といった内容などについて、話すことができる。
	書くこと	<ul style="list-style-type: none"> ・〈as ... as ～〉〈no other A+動詞+as～as B〉を理解して適切な英語を書くことができる。 ・「～と同じくらい…だ」「～よりも…であるものは他にない」といった内容などについて、適切な英語を書くことができる。
理解の能力	聞くこと	<ul style="list-style-type: none"> ・〈as ... as ～〉〈no other A+動詞+as～as B〉を用いて話された英語を聞き取ることができる。
	読むこと	<ul style="list-style-type: none"> ・〈as ... as ～〉〈no other A+動詞+as～as B〉を用いて書かれた英語を読みとることができる。
言語や文化についての知識・理解		<ul style="list-style-type: none"> ・〈as ... as ～〉〈no other A+動詞+as～as B〉の基本的な用法を理解している。

●Lesson 18 (p.68~69)

観点		評価規準
コミュニケーションへの関心・意欲・態度		<ul style="list-style-type: none"> ・「～している人」「～であるもの」といった内容などについて、積極的に伝えようとする。 ・関係代名詞 who, which の主格・目的格用法と省略についての理解を深め、コミュニケーションを図ろうとする。
表現の能力	話すこと	<ul style="list-style-type: none"> ・「～している人」「～であるもの」といった内容などについて、話すことができる。
	書くこと	<ul style="list-style-type: none"> ・関係代名詞 who, which の主格・目的格用法と省略を理解して適切な英語を書くことができる。 ・「～している人」「～であるもの」といった内容などについて、適切な英語を書くことができる。
理解の能力	聞くこと	<ul style="list-style-type: none"> ・関係代名詞 who, which の主格・目的格用法と省略を用いて話された英語を聞き取ることができる。
	読むこと	<ul style="list-style-type: none"> ・関係代名詞 who, which の主格・目的格用法と省略を用いて書かれた英語を読みとることができる。
言語や文化についての知識・理解		<ul style="list-style-type: none"> ・関係代名詞 who, which の主格・目的格用法と省略の基本的な用法を理解している。

●Lesson 19 (p.70~71)

観点		評価規準
コミュニケーションへの関心・意欲・態度		<ul style="list-style-type: none"> ・「人+人以外」をくわしく説明する、「その小説が有名である作家」「私が読みたかったもの」といった内容などについて、積極的に伝えようとする。 ・関係代名詞 that, what についての理解を深め、コミュニケーションを図ろうとする。
表現の能力	話すこと	<ul style="list-style-type: none"> ・「人+人以外」をくわしく説明する、「その小説が有名である作家」「私が読みたかったもの」といった内容などについて、話すことができる。
	書くこと	<ul style="list-style-type: none"> ・関係代名詞 that, what を理解して適切な英語を書くことができる。 ・「人+人以外」をくわしく説明する、「その小説が有名である作家」「私が読みたかったもの」といった内容などについて、適切な英語を書くことができる。
理解の能力	聞くこと	<ul style="list-style-type: none"> ・関係代名詞 that, what を用いて話された英語を聞き取ることができる。
	読むこと	<ul style="list-style-type: none"> ・関係代名詞 that, what を用いて書かれた英語を読みとることができる。
言語や文化についての知識・理解		<ul style="list-style-type: none"> ・関係代名詞 that, what の基本的な用法を理解している。

●Lesson 20 (p.72~73)

観点		評価規準
コミュニケーションへの関心・意欲・態度		<ul style="list-style-type: none"> ・「～する理由」「～する方法」「～である場所」「～であるとき」などについて、積極的に伝えようとする。 ・関係副詞の用法についての理解を深め、コミュニケーションを図ろうとする。
表現の能力	話すこと	<ul style="list-style-type: none"> ・「～する理由」「～する方法」「～である場所」「～であるとき」などについて、話すことができる。
	書くこと	<ul style="list-style-type: none"> ・関係副詞の用法を理解して適切な英語を書くことができる。 ・「～する理由」「～する方法」「～である場所」「～であるとき」などについて、適切な英語を書くことができる。
理解の能力	聞くこと	<ul style="list-style-type: none"> ・関係副詞の用法を用いて話された英語を聞き取ることができる。
	読むこと	<ul style="list-style-type: none"> ・関係副詞の用法を用いて書かれた英語を読みとることができる。
言語や文化についての知識・理解		<ul style="list-style-type: none"> ・関係副詞の用法の基本的な用法を理解している。

●Lesson 21 (p.80~81)

観点		評価規準
コミュニケーションへの関心・意欲・態度		<ul style="list-style-type: none"> ・「もし～なら…だろう」「あの時～していれば、(現在は)～だろうに」「もし～だったなら…だっただろうに」などについて、積極的に伝えようとする。 ・仮定法過去、仮定法過去完了についての理解を深め、コミュニケーションを図ろうとする。
表現の能力	話すこと	<ul style="list-style-type: none"> ・「もし～なら…だろう」「あの時～していれば、(現在は)～だろうに」「もし～だったなら…だっただろうに」などについて、話すことができる。
	書くこと	<ul style="list-style-type: none"> ・仮定法過去、仮定法過去完了を理解して適切な英語を書くことができる。 ・「もし～なら…だろう」「あの時～していれば、(現在は)～だろうに」「もし～だったなら…だっただろうに」などについて、適切な英語を書くことができる。
理解の能力	聞くこと	<ul style="list-style-type: none"> ・仮定法過去、仮定法過去完了を用いて話された英語を聞き取ることができる。
	読むこと	<ul style="list-style-type: none"> ・仮定法過去、仮定法過去完了を用いて書かれた英語を読みとることができる。
言語や文化についての知識・理解		<ul style="list-style-type: none"> ・仮定法過去、仮定法過去完了の基本的な用法を理解している。

●Lesson 22 (p.82~83)

観点		評価規準
コミュニケーションへの関心・意欲・態度		<ul style="list-style-type: none"> ・「～であればなあ」「まるで～のように」などについて、積極的に伝えようとする。 ・〈wish+仮定法の文〉〈as if+仮定法の文〉についての理解を深め、コミュニケーションを図ろうとする。
表現の能力	話すこと	<ul style="list-style-type: none"> ・「～であればなあ」「まるで～のように」などについて、話すことができる。
	書くこと	<ul style="list-style-type: none"> ・〈wish+仮定法の文〉〈as if+仮定法の文〉を理解して適切な英語を書くことができる。 ・「～であればなあ」「まるで～のように」などについて、適切な英語を書くことができる。
理解の能力	聞くこと	<ul style="list-style-type: none"> ・〈wish+仮定法の文〉〈as if+仮定法の文〉を用いて話された英語を聞き取ることができる。
	読むこと	<ul style="list-style-type: none"> ・〈wish+仮定法の文〉〈as if+仮定法の文〉を用いて書かれた英語を読みとることができる。
言語や文化についての知識・理解		<ul style="list-style-type: none"> ・〈wish+仮定法の文〉〈as if+仮定法の文〉の基本的な用法を理解している。

●Lesson 23 (p.84~85)

観点		評価規準
コミュニケーションへの関心・意欲・態度		<ul style="list-style-type: none"> ・「すべてが～というわけではない」「ほとんど～ない」などについて、積極的に伝えようとする。 ・部分否定、hardly などの準否定語についての理解を深め、コミュニケーションを図ろうとする。
表現の能力	話すこと	<ul style="list-style-type: none"> ・「すべてが～というわけではない」「ほとんど～ない」などについて、話すことができる。
	書くこと	<ul style="list-style-type: none"> ・部分否定、hardly などの準否定語を理解して適切な英語を書くことができる。 ・「すべてが～というわけではない」「ほとんど～ない」などについて、適切な英語を書くことができる。
理解の能力	聞くこと	<ul style="list-style-type: none"> ・部分否定、hardly などの準否定語を用いて話された英語を聞き取ることができる。
	読むこと	<ul style="list-style-type: none"> ・部分否定、hardly などの準否定語を用いて書かれた英語を読みとることができる。
言語や文化についての知識・理解		<ul style="list-style-type: none"> ・部分否定、hardly などの準否定語の基本的な用法を理解している。

●Lesson 24 (p.86~87)

観点		評価規準
コミュニケーションへの関心・意欲・態度		<ul style="list-style-type: none"> ・「(人) が～であると言った」「(人) が～ですか、とたずねた」「(人) に～しなさい、と命じた」などについて、積極的に伝えようとする。 ・さまざまな間接話法の文についての理解を深め、コミュニケーションを図ろうとする。
表現の能力	話すこと	<ul style="list-style-type: none"> ・「(人) が～であると言った」「(人) が～ですか、とたずねた」「(人) に～しなさい、と命じた」などについて、話すことができる。
	書くこと	<ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな間接話法の文を理解して適切な英語を書くことができる。 ・「(人) が～であると言った」「(人) が～ですか、とたずねた」「(人) に～しなさい、と命じた」などについて、適切な英語を書くことができる。
理解の能力	聞くこと	<ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな間接話法の文を用いて話された英語を聞き取ることができる。
	読むこと	<ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな間接話法の文を用いて書かれた英語を読みとることができる。
言語や文化についての知識・理解		<ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな間接話法の文の基本的な用法を理解している。

●Lesson 25 (p.88~89)

観点		評価規準
コミュニケーションへの関心・意欲・態度		<ul style="list-style-type: none"> ・「～するにつれて」「～している間」「～するために」「～であるけれど」「もし～ならば」「～でない限り」などについて、積極的に伝えようとする。 ・接続詞など (as, while, so that, though, if, unless) についての理解を深め、コミュニケーションを図ろうとする。
表現の能力	話すこと	<ul style="list-style-type: none"> ・「～するにつれて」「～している間」「～するために」「～であるけれど」「もし～ならば」「～でない限り」などについて、話すことができる。
	書くこと	<ul style="list-style-type: none"> ・接続詞など (as, while, so that, though, if, unless) を理解して適切な英語を書くことができる。 ・「～するにつれて」「～している間」「～するために」「～であるけれど」「もし～ならば」「～でない限り」などについて、適切な英語を書くことができる。
理解の能力	聞くこと	<ul style="list-style-type: none"> ・接続詞など (as, while, so that, though, if, unless) を用いて話された英語を聞き取ることができる。
	読むこと	<ul style="list-style-type: none"> ・接続詞など (as, while, so that, though, if, unless) を用いて書かれた英語を読みとることができる。
言語や文化についての知識・理解		<ul style="list-style-type: none"> ・接続詞など (as, while, so that, though, if, unless) の基本的な用法を理解している。

●Project Work A (p.28~29)

観点		評価規準
コミュニケーションへの関心・意欲・態度		<ul style="list-style-type: none"> ・劇場や博物館などの電話での音声案内について、要点や概要を正しく聞き取ろうとする。 ・聞き取ったガイダンスなどの要点や概要を、適切にeメールや電話などで正しく伝え、コミュニケーションを図ろうとする。
表現の能力	話すこと	<ul style="list-style-type: none"> ・オプション（聞き取った劇場や博物館の音声案内の要点や概要を、電話などで正しく伝えることができる。） ・正しいストレスの位置で単語を発音することができる。
	書くこと	<ul style="list-style-type: none"> ・聞き取った劇場や博物館の音声案内の要点や概要を、メモすることができる。 ・メモを元にして、聞き取った空港や駅でのアナウンスなどの要点や概要について、eメールなどを書くことができる。
理解の能力	聞くこと	<ul style="list-style-type: none"> ・劇場や博物館の音声案内について、要点や概要を正しく聞き取ることができる。
	読むこと	<ul style="list-style-type: none"> ・劇場や博物館の音声案内などの音声スクリプトを読み、要点や概要を正しく理解することができる。 ・劇場や博物館の音声案内などの要点や概要について書いたeメールなど読み、内容を正しく理解することができる。
言語や文化についての知識・理解		<ul style="list-style-type: none"> ・劇場や博物館の音声案内でよく使われる表現や、飛行機・列車の便名の呼び方について理解している。

●Project Work B (p.28~29)

観点		評価規準
コミュニケーションへの関心・意欲・態度		<ul style="list-style-type: none"> ・クラスメイトのさまざまな自己紹介を聞き、要点や概要を正しく聞き取ろうとする。また、それをもとにその人を正しく紹介しようとする。 ・名前や興味あることなどを織り込んだ短い自己紹介をして、聴く人とコミュニケーションを図ろうとする。
表現の能力	話すこと	<ul style="list-style-type: none"> ・名前や興味あることなどを織り込んだ短い自己紹介をすることができる。 ・クラスメイトのさまざまな自己紹介を聞き、それをもとにその人を正しく紹介することができる。 ・単語と単語がつながって発音されるところに注意して、発音することができる。
	書くこと	<ul style="list-style-type: none"> ・クラスメイトのさまざまな自己紹介を聞き、概要や要点をメモすることができる。また、それをもとにその人を紹介するための文を書くことができる。 ・名前や興味あることなどを織り込んだ短い自己紹介のスク립トを書くことができる。
理解の能力	聞くこと	<ul style="list-style-type: none"> ・クラスメイトのさまざまな自己紹介を聞き、要点や概要を正しく理解することができる。 ・ある人の、別の人による紹介を聞き、要点や概要を正しく聞き取ることができる。
	読むこと	<ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな自己紹介の文を読み、概要や要点を正しく理解することができる。 ・ある人を紹介するための文を読み、要点や概要を正しく理解することができる。
言語や文化についての知識・理解		<ul style="list-style-type: none"> ・自己紹介でよく使われる表現や、興味あるものの表現のしかたについて理解している。

●Project Work C (p.60~61)

観点		評価規準
コミュニケーションへの関心・意欲・態度		<ul style="list-style-type: none"> ・豊岡でのコウノトリの保護活動の内容や歴史について話を聞き、要点や概要を正しく聞き取ろうとする。 ・読んだり聞いたりした内容の概要を、eメールなどで伝えようとする。
表現の能力	話すこと	<ul style="list-style-type: none"> ・豊岡でのコウノトリの保護活動の内容や歴史について話を聞き、要点や概要についての質問に正しく答えることができる。
	書くこと	<ul style="list-style-type: none"> ・豊岡でのコウノトリの保護活動の内容や歴史についての話を聞き、キーワードをメモしたり、要点や概要を書いたりすることができる。 ・読んだり聞いたりした内容の概要を伝えるeメールを書くことができる。
理解の能力	聞くこと	<ul style="list-style-type: none"> ・豊岡でのコウノトリの保護活動の内容や歴史についての話を聞き、要点や概要を正しく聞き取ることができる。 ・豊岡でのコウノトリの保護活動の内容や歴史についての要点や概要についてたずねる質問を正しく聞き取ることができる。
	読むこと	<ul style="list-style-type: none"> ・豊岡でのコウノトリの保護活動の内容や歴史についての話を聞き、要点や概要を正しく読みとることができる。 ・豊岡でのコウノトリの保護活動の内容や歴史についての要点や概要についてたずねる質問を正しく読むことができる。
言語や文化についての知識・理解		<ul style="list-style-type: none"> ・絶滅危惧種の問題や身近な環境問題について、理解している。 ・eメールに特有の表現を理解している。

●Project Work D (p.76~77)

観点		評価規準
コミュニケーションへの関心・意欲・態度		<ul style="list-style-type: none"> あるテーマについての英語のスピーチを聞き、要点や概要を正しく聞き取ろうとする。 あるテーマについてのふたつのスピーチを聞いて、その共通点や相違点をまとめて発表しようとする。
表現の能力	話すこと	<ul style="list-style-type: none"> あるテーマについてのふたつのスピーチを聞いて、その共通点や相違点をまとめて発表することができる。 内容語を強く、それ以外の語は弱く発音することができる。
	書くこと	<ul style="list-style-type: none"> あるテーマについての英語のスピーチを聞き、要点や概要を正しくメモし、概要をまとめた英文を書くことができる。 あるテーマについてのふたつのスピーチを聞いて、その共通点や相違点をまとめた文を書くことができる。
理解の能力	聞くこと	<ul style="list-style-type: none"> あるテーマについての英語のスピーチを聞き、要点や概要を正しく聞き取ることができる。 ふたつのスピーチについての共通点や相違点をまとめた発表を正しく聞き取ることができる。
	読むこと	<ul style="list-style-type: none"> あるテーマについての英文を読み、要点や概要を正しく読み取ることができる。 ふたつのスピーチについての共通点や相違点をまとめた英文を、正しく読み取ることができる。
言語や文化についての知識・理解		<ul style="list-style-type: none"> 自分の好きなことについて話す表現、旅行、鉄道旅行についての表現を理解している。 共通点や相違点を指摘する際に必要な表現を理解している。

●Project Work E (p.92~93)

観点		評価規準
コミュニケーションへの関心・意欲・態度		<ul style="list-style-type: none"> あるテーマについての英語のスピーチを聞き、要点や概要を正しく聞き取ろうとする。 あるテーマについて自分の考えをまとめ、スピーチとして発表しようとする。
表現の能力	話すこと	<ul style="list-style-type: none"> あるテーマについて自分の考えをまとめ、スピーチとして発表することができる。 上がるイントネーションと下がるイントネーションを正しく発音することができる。
	書くこと	<ul style="list-style-type: none"> あるテーマについての英語のスピーチを聞き、要点や概要を正しくメモし、概要をまとめた英文を書くことができる。 あるテーマについて自分の考えをまとめ、スピーチ原稿を書くことができる。
理解の能力	聞くこと	<ul style="list-style-type: none"> あるテーマについての英語のスピーチを聞き、要点や概要を正しく聞き取ることができる。
	読むこと	<ul style="list-style-type: none"> あるテーマについての英語のスピーチ原稿を読み、要点や概要を正しく読みとることができる。
言語や文化についての知識・理解		<ul style="list-style-type: none"> 自分の好きなことについて話す表現、ペットについての表現を理解している。 スピーチに特有の表現や、自分の主張やその理由を話すための表現を理解している。